

■(中村屋)大野弁吉
おおのべんきち
宣長没・・・1801＝

“加賀の平賀源内”といわれるからくり師。科学的知識を身につけた技術者として再評価された。

京都五条通りの_羽子細工師の子に生まれる。

_幼時より非凡な才能を現し、

・・・・・・1810＝9歳：

浮世床・・・1813＝12歳：この年、米林八十八(一光)金沢で生まれる。
黒住教・・・1814＝13歳：この年、中村屋うた大野村で生まれる。

水野忠成老中1818＝17歳：
群書類従完結1819＝18歳：この頃、_長崎に遊学し、**医術・理化学**を学ぶうち、

英船浦賀来航1822＝21歳：この頃、***対馬藩主宗氏**から**細工の業績**を評価され、**憧れの朝鮮**に渡る。
シボ^{シボ}朴来日・1823＝22歳：_**大砲模型**造る。

紀伊国に遊び、砲術・馬術を修め、
京都に帰って、

・・・・・・1826＝25歳：この頃、中村屋八右衛門の娘うたと結婚、中村屋を名のる。

シボ^{シボ}朴事件・1828＝27歳：

シボ^{シボ}朴追放・1829＝28歳：京都で、米林八十八が入門。

富嶽三十六景1831＝30歳：この頃、うたとともに、妻の実家があった加賀国石川郡大野村に移住し、*以後、**豪商銭屋五兵衛の援助により、新知識を得、その注文に応じたりして、生涯を過す。**

滑稽+人情本 1835＝34歳：八十八が長谷川勘兵衛に入門。

大塩平八郎乱1837＝36歳：八十八が鳥羽音次郎に入門。_**からくり人形(舞鼓・宮詣)**つくる。

適塾+ブ^ン・1838＝37歳：八十八、金沢上堤町で奇物営業始める。

蘭学者松田東英の影響を受けたともいわれ、

天保改革始・1841＝40歳：_**銭屋五兵衛の宝量丸新造祝**に**宝船香炉**つくる。

天保改革弾圧1842＝41歳：この頃、長崎へ再遊。_**写真術を学んだらしく、**

順天堂始・・・1843＝42歳：この頃、美川町で山車人形をつくる。

天保改革終・1844＝43歳：この頃、_**うたや銭屋喜太郎との写真**を撮影。

阿部正弘首座1845＝44歳：

孝明天皇・・・1846＝45歳：銭屋五兵衛家の将棋盤の寝覚弁当箱つくる。

・・・・・・1847＝46歳：祇園祭りの山鉾模型つくる。

北斎没・・・1849＝48歳：八十八、七尾・宇出津・宗玄で奇物営業、観音院開帳で弁吉のカラクリ興行。_**写真術において、すでに銀板でなく湿板を用いていたことから、世界に先駆している可能性もある。**

国定忠治磔・1850＝49歳：八十八、金谷・巽御殿の御用を勤める。この頃弁吉、自らの肖像写真を撮影。

ペリー来航・1853＝52歳：この頃、ゼンマイ飛蛙をつくる。この頃、_**科学製品を図解した「一東視窮録」**を著述。

開国開港・・・1854＝53歳：外圧高まる情勢に、この年、加賀藩では洋式兵学校(壮猶館)を設立、

安政大地震・1855＝54歳：中村豫卿、弁吉方でからくり人形かざりを見物する。

蕃書調所・・・1857＝56歳：うたと連名で、丸屋喜市郎宛借金証文を書く。

五ヶ国条約・1858＝57歳：銭屋に地震見舞に参る。

安政の大獄・1859＝58歳：_**弟子らとともに、大野浜辺でからくり興行開くなど、この頃の「加越能古人高名一覧」に“彫刻師”として登場、機械的なものを含む各種細工物で知られていた。**

桜田門外変・1860＝59歳：無尽灯をつくる。

生麦事件・・・1862＝61歳：藤井伸三を撮影する(この写真は天保14年に紛失)。

8月18日政変 1863＝62歳：小池兵治、金沢に移住する。***“諸細工巧者成”**と認められ、**{壮猶館}舎方御用手伝を拝命。**

禁門の変・・・1864＝63歳：八十八、御鉄砲所御用拝命。

明治維新・・・1868＝67歳：

戊辰戦争終・1869＝68歳：高山一之、前田慶寧・利嗣を撮影する。

初の日刊新聞1870＝69歳：吉田好二、写真御用掛拝命。_**没した。**